

様式 2－2（技術基準評価表）記入要領

1. 注意事項

- (1) 新技術・新工法ライブラリーの『基準適合情報』に登録したい方は、様式 2【概要説明書(その 1～その 9)】及び様式 2－2【技術基準評価表】の作成をお願いします。
- (2) 様式の書式設定、行数、桁数、罫線の枠組等是不変しないでください。
- (3) 記載内容を説明する参考資料を添付して下さい。
- (4) 記載事項・記入漏れ等の確認のため、受付後に記載事項について電話や電子メールにてヒヤリングをさせていただきます。
- (5) 記入例を参考にして、記入をお願いします。

2. 記入要領

- (1) 新技術の名称、副題、開発年月、申請者、開発者、区分、分類
※自動挿入のため記入不要です。
 - (2) 新技術・新工法ライブラリー『申請情報』登録番号
※既に『申請情報』に登録している場合は、登録番号を記入して下さい。
 - (3) 技術の成立性の確認
各項目について該当がある場合は「有」、無い場合は「無」を選択して下さい。また、「有」の場合は、それを確認する資料として、証明(登録)証の写し・技術資料等を参考資料として提出して下さい。なお、3項目とも該当しない場合は、『基準適合情報』への登録は不可となりますのでご注意下さい。
- NETIS 登録(事後評価)
NETIS の事後評価における活用効果評価で、『設計比較対象技術』『少実績優良技術』『活用促進技術』として位置づけられている場合は、技術名称、登録番号を記入して下さい。
 - 公的機関による技術審査証明
技術名称、登録番号、審査機関を記入して下さい。複数の場合は、代表的なものを選択

して評価表に記入し、それ以外は参考資料等で分かるようにして下さい。

※本技術基準評価表における公的機関とは以下の14法人です。

(一財) 国土技術研究センター	(一財) 土木研究センター
(一財) 日本建設情報総合センター	(公社) 日本測量協会
(一財) 日本建設機械施工協会	(一財) ダム技術センター
(一財) 日本建築センター	(一財) 建築保全センター
(一財) 砂防・地すべり技術センター	(公財) 日本下水道新技術機構
(一財) 先端建設技術センター	(公財) 日本地図センター
(一財) ベターリビング	(一財) 沿岸開発技術研究センター

(4) 比較する従来技術名

比較する従来技術は、原則として、『国土交通省土木工事積算基準』や『建設物価』『積算資料』等に掲載されている名称を記入してください。

(5) 評価項目1

経済性の比較は、一般的な施工条件で、標準的な規模で施工あるいは使用した場合に、従来工法あるいは類似工法と比べて評価し、「優れている」、「同等程度」、「劣っている」のいずれかを「従来技術との比較」の欄に必ず記入して下さい。従来技術のコストや申請技術のコストが分かるように参考資料を添付して下さい。なお、「優れている」、「同等程度」、「劣っている」の判断基準は設けていませんので申請者の自主判断で評価して下さい。また、申請受付時に新技術等の単価について見積依頼を行う予定ですので、十分注意して資料を作成して下さい。

(6) 評価項目2

従来技術と申請技術の安全性、施工性、品質、環境保全を比較し、「優れている」、「同等程度」、「劣っている」、「不明」を申請者の判断で評価し記入して下さい。なお、比較した評価の根拠が分かるように、参考資料を添付し、そのページ数を「従来技術」、「申請技術」の欄に記入して下さい。「不明」の場合は、「＊」を記入して下さい。

(7) 適用範囲

施工時の天候条件、作業スペース・支障物件等の制約条件、適用できない範囲を記入して下さい。また、施工または使用に当たって、特に注意する点等をその他の欄に記入して下さい。説明に必要な参考資料があれば、添付して下さい。

(8) 施工・品質管理

本工法を適用する場合の技術指針・設計指針、出来形管理基準、品質管理基準が分かる

ものを記入して下さい。

(9) 問題発生時の対応方法

考えられる問題・課題等を検討し、その対応方法を必ず記入して下さい。

(10) 特筆事項

申請新技術等に関する特にアピールしたいポイント等について記入して下さい。